



新年号
Vol.348
(2023.2)

新年のご挨拶

自主支援課長 和田英孝

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、光風園の事業運営につきましまして、ご家族の皆様、地域の皆様並びに各関係機関の皆様をはじめ多くの方々にご支えていただき新たな年を迎えられたこと、心より御礼申し上げます。

今年の干支はうさぎ。卯年は芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。また、うさぎは跳びはねることから、飛躍の象徴とされているようです。うさぎにあやかり元気に飛躍する一年となればと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症は発生から早三年が経過しようとしています。この猛威を目の当たりにして、改めて普通の暮らしがどれだけ素晴らしいことなのか思い知らされることとなりました。感染症はまだ終息が見えませんが、ゼロコロナからウィズコロナへと対応が変化したことで感染予防に努めながらも新たな日常生活を模索する動きが加速しています。当園では高齢病弱な方も多数入居されているため、感染予防には引き続き最大限の対応が必要となりますが、光風園の基本理念である「十人十色あなた色の花を咲かせましょう。希望の光と優しい風の中で」のもと、新たな日常生活が素晴らしいものと思えるよう、職員一丸となって支援に取り組んで参ります。

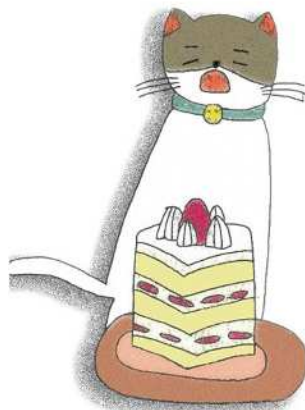
本年も引き続きのご支援ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



季節の行事

クリスマス会

十二月に各棟でクリスマス会を行いました。園長サンタが登場したり、プレゼントをもらったり、ケーキを美味しく食べたりとそれぞれの棟でクリスマスをお祝いされました。サンタやトナカイの被り物をしてはしゃいでいるご利用者もおられました。職員による生演奏に合わせて皆さんでクリスマスソングを合唱する棟もあり、盛り上がっていました。





十二月二十日に餅つき会が行われました。毎年恒例となったこの餅つき会ですが、今年度は感染症対策を講じ、各棟代表者と通所部での実施となりました。臼と杵を用意し、順番に餅をつかれました。「よいしょー、よいしょー!」という掛け声と共に杵を思いきり振り下ろす度、餅から出る湯気や蒸したもち米の匂いが広がっていました。出来上がった餅は、鏡餅にして園内に飾りました。また、おやつの際にぜひいにして食べられました。年の瀬の訪れを感じられる行事となりました。



餅つき



改めまして新年あけましておめでとございます。去る一月十六日、通所「あゆみ」では、新年を祝い行事として新年会を行いました。お菓子は市内の製菓会社より取り寄せ、甘酒も準備して楽しみました。普段口にしない和菓子を食べて舌鼓を打ち、甘酒も好評でした。今年もコロナに負けない良い年になりますように参加者でお願いし、楽しいひと時を過ごしました。

新年会



祈願祭

新年を迎え、光風園訓練棟にて祈願祭を開催しました。新型コロナウイルスまん延防止の観点から今年は規模を縮小して行いました。各棟から代表されたご利用者により玉串拝礼を行いました。各棟の入口もご祈禱いただきました。今年一年皆様がご健康で過ごされまますようにお祈り申し上げます。



編集後記

新年明けましておめでとございませう。本年もよろしくお願い致します。2022年はどのような一年を過ごされましたか？私はこの一年で冬季五輪やサッカーW杯などスポーツ観戦にハマリ、W杯の開催期間中は寝不足の毎日でした。世の中では一年で大きく規制が緩和され、ここ数年とは全く違った年末年始の賑わいとなったように感じます。世間のコロナに対する認識も変わりつつありますが、ご利用者の皆様にとって脅威であることには変わりありません。アクセルとブレーキのバランスを取りながら今後も感染症対策に努めて参ります。

